

2014 年 8 月

プレスリリース

展覧会

猪熊弦一郎展 形がいっぱい

2014 年 10 月 4 日（土）-2015 年 1 月 18 日（日）

（前期：10 月 4 日（土）-11 月 17 日（月） 後期：11 月 18 日（火）-1 月 18 日（日））

休館：2014 年 12 月 25 日（木）-31 日（水）

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館

お問い合わせ及び資料のご請求先：

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館

公益財団法人ミモカ美術振興財団

展覧会担当=松村円

763-0022 香川県丸亀市浜町 80-1

tel. 0877-24-7755

fax. 0877-24-7766

<https://www.mimoca.org/ja/press/>

E-mail press@mimoca.org

猪熊弦一郎展 形がいっぱい

【概要】

展覧会名：猪熊弦一郎展 形がいっぱい

会期：2014 年 10 月 4 日（土）-2015 年 1 月 18 日（日）

前期：10 月 4 日（土）-11 月 17 日（月）

後期：11 月 18 日（火）-1 月 18 日（日）

（休館 2014 年 12 月 25 日（木）-12 月 31 日（水））

時間：10：00-18：00（入館は 17：30 まで）

会場：丸亀市猪熊弦一郎現代美術館

主催：丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団

観覧料：一般 950 円（760 円）、大学生 650 円（520 円）、高校生以下または 18 歳未満・丸亀市在住の 65 歳以上・各種障害者手帖をお持ちの方は無料

- ・ 同時開催常設展「猪熊弦一郎展」観覧料を含む
- ・ （ ）内は前売り及び 20 名以上の団体料金
- ・ 11 月 23 日（日・祝）は開館記念日のため観覧無料
- ・ **2 回目以降の来館時に半券提示で観覧料が一律 500 円になります！**
（1 枚につき、お 1 人有効。他の割引との併用はできません）

*本展は、11月17日までを前期、11月18日からを後期として出品作品のうち約1/3を展示替えいたします。

前売券販売場所：

〔丸亀〕 あーとらんどギャラリー（0877-24-0927）、オークラホテル丸亀（23-2222）

おみやげSHOP ミュー（22-2400）、きままや（22-9361）

【展覧会趣旨】

猪熊弦一郎（1902-93）は、画業の前半には人物や猫、鳥などを描いていました。その後 50 歳を過ぎて渡米すると、作品は直線や真円が際立つ抽象画へと変化します。そして 70 歳を越し、1 年の約 2/3 を東京で、冬の間の約 1/3 をハワイで制作するようになると、○や□に始まり、それらをデコボコさせてできた複雑で何とも言い表しがたい形、さらには面白い形であると考えた顔や動物までもを作品にたくさん描くようになりました。これらは自身の頭の中にひそむ

形を取り出して何にとらわれることなく自由に描いたものですが、絵として、はっとする美しさをもつものになるよう、一つひとつの形は吟味され、色や配置、互いのバランスが厳しく判断されています。本展では、東京／ハワイを制作拠点として描いた作品を取り上げ、猪熊の物を見る鋭い目と優れた造形感覚による形の饗宴をお楽しみいただくとともに、どのようにして形が生まれ、いかに組み合わせられたかを詳しく探ることで、楽しさに満ちた猪熊作品の魅力の根源に迫ります。

※出品作品例の広報用画像をご希望の際は、データにてお送りいたしますので、当館ウェブ上のプレス用ページ (<http://www.mimoca.org/ja/press/>) よりお申し込みください。なお、著作権の都合上、画像をご掲載の際は必ずクレジット等のご記載もあわせてお願い申し上げます。

【トピックス】

1. 複雑な形はどのように生まれたの？

猪熊は丸を動的なもの、四角を静的なものと考え、基本の形としました。ここから発展して、いろいろな形を描きましたが、どのような流れで複雑な形が生まれ、それらがたくさん描き込まれた作品へと変化していったのかをご紹介します。

2. 形に加えて

猪熊の作品には、よく似ている形が描かれながらも、少しずつ配置が違ったり、色が異なったりするものがあります。これらからは自分にとって優れた絵を得るための、猪熊の飽くなき探求が垣間見られます。見る人それぞれにも一番のお気に入りが見つかるはず。

3. とは言え、丸と四角

思いもよらない形をたくさん生み出した猪熊ですが、やはり基本は丸と四角でした。ほぼ必ずと言っていいほど、丸と四角が作品に見え隠れします。作品ごとに、どこに描かれているのか探して見ても楽しい発見があります。

【関連プログラム】

・キュレーターズ・トーク

本展担当キュレーター（松村円）が展覧会をご案内します。

日時：会期中の日曜日 14：00-

参加料：無料（ただし展覧会チケットが必要です）

申込：不要（1階受付前にお集りください）

・ワークショップ

『オモシロカタチのスタンプハンカチ』

猪熊弦一郎の絵の中に描かれているいろんなカタチに注目しながら展示室で作品を見た後、みんなで簡単なゲームをしながら「オモシロいカタチ」をつくります。つくったカタチをスタンプにしてハンカチにプリントしましょう。

日時：①2014年12月7日(日) ②2014年12月14日(日)

各日 10：00～12：15

場所：丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 3階展示室および2階造形スタジオ

対象：①小学生 ②中学生～大人

定員：各回 20名

参加料：200円

申込：必要

申込締切：①11月18日(火) 必着 ②11月25日(火) 必着

《申込方法》

ワークショップ名・希望の回・名前（ふりがな）・学年（年齢）・郵便番号・住所・電話番号を書いて、メール（workshop@mimoca.org）もしくはハガキでワークショップ係までお申し込みください。当館ウェブサイトのフォームからお申し込み可能です。

*応募者多数の場合は抽選し、その結果は締切後全員にハガキでお知らせします。

*兄弟・友人同士の場合、1通のメールもしくはハガキで一緒にお申し込みができます。

*メールでお申し込みの場合、募集締切日の翌日 12:00 までに受付完了の返信メールが届かなければ、その日の 18：00 までにご連絡ください。

*締切後でも定員に満たない場合は、受付けますのでお問い合わせください。

【作家紹介】

猪熊弦一郎

【略歴】

1902 香川県高松市に生まれる

1922 東京美術学校（現東京藝術大学）西洋画科に入学。3 年次から藤島武二に学ぶ。

1926 帝国美術院第 7 回美術展覧会（帝展）初入選

1929 第10 回帝展で特選

1933 第14回帝展で2 度目の特選。以後、帝展無鑑査となる。

1936 志を同じくする仲間たちと新制作派協会（現新制作協会）結成

1938 念願のパリに留学。滞欧中、イタリア、スイスなどを旅行する。またパリではマティスに自作を見てもらうほか、画廊を勢力的に巡り当時の巨匠たちの実作に多く触れる。それらに刺激を受け、さまざまな描き方を試みる。

1940 帰国。

1944 神奈川県津久井郡吉野町（現神奈川県相模原市緑区）に疎開する。

1946 田園調布に戻る。人物や猫、鳥などを多く描く。画面の均整をとるために人物や動物などを厳しく単純化し、現実とは異なる色彩を用いて描く。

1955 再度、パリへの留学を決意し、アメリカ経由で出発する。途中で立ち寄ったニューヨークの熱気に魅力を感じ、以後、約20年間ニューヨークで活動が続ける。渡米後しばらくして、作品から具体的な物の形が消える。その後、「街」をテーマとして直線や真円を多用した作品を描くようになる。

1973 一時帰国していた猪熊がニューヨークへ戻る際に開かれた送別会の席上、脳血栓で倒れる。

1975 ニューヨークでの制作が困難になり、アトリエを閉める。以後、冬の間はハワイで、その他の季節を東京で制作する。ハワイの太陽と自然に接し、色彩は明るく豊かになる。また四角と丸の組み合わせから始まった作品は、徐々に多様な形が増えていく。四角と丸を基調にした形だったり、動物や植物に見えるような形、何とも言えない複雑な形などがたくさん生み出される。

1988 最愛の文子夫人が亡くなる。顔を、丸の中に面白い形を組み合わせたものといい、顔の連作を始める。すぐに顔だけでなく、動物やその他の形を一つの作品に描き込みはじめる。抽象と具象の粹組みを意識せずに描く。

1991 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館開館。

1993 逝去 享年90歳。

【展覧会のお知らせ】

[同時開催常設展]

猪熊弦一郎展（仮称）

2014 年 10 月 4 日（土）-2015 年 1 月 25 日（日）（12 月 25 日（木）-31 日（水）は年末休館）

※ 同時開催企画展と会期の終了日が異なります。

[次回開催企画展]

鈴木理策写真展（仮称）

2015 年 2 月 1 日（日）-5 月 31 日（日） 会期中無休